

2019

令和元年度 教育委員会点検・評価報告書

【平成 30 年度事業対象】

令和元年 1 2 月

神栖市教育委員会

はじめに

「教育基本法」及び「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価の制度化に関する事項が設けられました。

これにより、全ての教育委員会では毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

この改正を受け、神栖市教育委員会は平成20年度から、教育長に委任した事務も含めて、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出するとともに、市のホームページ等で市民へ公表をしております。

今年度は、平成30年度に実施した「第2期神栖市教育振興基本計画」の「69の施策」のうち、19の施策における主な取組内容について、神栖市教育委員会として自己点検・自己評価を行い、神栖市教育委員会評価委員会からのご意見をいただきました。

神栖市教育委員会では、この点検・評価の結果を踏まえながら、今後も神栖市の教育目標の達成に向け、効果的で充実した教育行政の推進を図ってまいります。

また、市民の皆様はこの報告書をご覧いただき、市に対するご意見をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現を目指してまいります。

令和元年12月

神栖市教育委員会

神栖市教育目標

- 1 じょうぶな身体と、たくましい心をもつ人間性豊かなひとづくり
- 2 知恵と技をもち、未来をひらく向上心みなぎるひとづくり
- 3 郷土を愛し、協力しあい、活力あふれるやすらぎのまちを創造するひとづくり

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	第2期神栖市教育振興基本計画について	1
II	教育委員会点検・評価の概要	3
III	教育委員会の活動状況	5
IV	主要事業の点検・評価結果	
	第2期神栖市教育振興基本計画における各事業の位置づけ	7
	施策2 指導計画や指導方法の充実	10
	施策4 誰もが安心して子育てができる幼児教育相談の充実	12
	施策6 子育て支援体制の充実	13
	施策18 一貫した人権教育の促進	14
	施策22 就学前の特別支援教育の充実	15
	施策26 奨学金制度の充実	17
	施策30 国際理解教育の推進	18
	施策31 情操・福祉教育の充実	19
	施策32 研修体制の改善と充実	20
	施策33 学校の適正規模・適正配置の検討	21
	施策38 学校施設のバリアフリー化	22
	施策43 成人式典の開催	23
	施策48 社会教育の振興	24
	施策51 社会教育関連施設の活用促進	25
	施策54 市内全域での読書環境の向上	26
	施策57 文化関連団体の支援・育成	27
	施策60 歴史民俗資料館の充実	28
	施策67 新たなスポーツの導入	29
	施策69 学校体育施設の効果的な活用	30

I 第2期神栖市教育振興基本計画について

神栖市教育委員会では、今後5年間を見通して目指すべき教育の姿として、3つの基本目標を設定し、市民みんなで育む「かみす元気っ子」の育成など特色ある教育活動を通して、教育行政を推進します。教育振興のための基本的な計画として、平成30年12月に「第2期神栖市教育振興基本計画」を策定し、この計画に基づき施策を展開しております。

《 神 栖 市 教 育 目 標 》

- 1 じょうぶな身体と、たくましい心をもつ人間性豊かなひとづくり
- 2 知恵と技をもち、未来をひらく向上心みなぎるひとづくり
- 3 郷土を愛し、協力しあい、活力あふれるやすらぎのまちを創造するひとづくり

《 基 本 テ ー マ 》

豊かな人間性と 創造性を備えた 未来につなげるひとづくり

基本目標1 生きる力と確かな学力の育成

確かな学力を身に付けさせるために、基礎的・基本的な知識と技能を習得し、規範意識をもって主体的に行動する、心豊かで健康的な子どもを育てる教育を推進します。また、障がいがあっても自分に合った学習環境で着実に学び、成長できる仕組みを整備しつつ、一人ひとりの多様性について理解し、互いを尊重する共生の心や国際性・郷土愛を身につけた「かみす元気っ子」を育みます。

基本目標2 学びを支える教育環境の整備

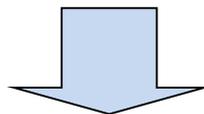
児童生徒が安全で安心な学校生活を送れるよう、学校施設の維持管理を計画的に行うとともに、教職員の資質向上のため研修体制を改善充実させ、教職員が「かみす元気っ子」と向き合い、成長を十分にサポートできる体制づくりに努めます。また、特色ある教育活動や地域に根ざした開かれた学校づくりを推進し、より良い教育環境の整備に努めます。

基本目標3 地域社会と連携した教育の推進

家庭の教育力向上のための支援や地域一体となって「かみす元気っ子」を育てるための環境づくりを推進します。また、様々な社会教育・文化芸術の振興、スポーツの推進を通じて、子どもから大人までいつでも学び、成長する元気な神栖市民を目指します。

基本テーマ

豊かな人間性と 創造性を備えた 未来につなげるひとづくり



基本目標 1 生きる力と確かな学力の育成

幼児教育	1 - 1	幼児の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実
	1 - 2	子育て支援を図る幼児教育相談の充実
	1 - 3	地域や保護者に開かれた幼稚園経営の推進
	1 - 4	保育所（園）・幼稚園・小学校の連携の強化や接続の促進
学校教育	2 - 1	確かな学力を身に付ける教育の推進
	2 - 2	豊かな心とたくましい身体を育む教育の推進
	2 - 3	人権教育の推進
	2 - 4	自立と生きがいを育む障がい児教育の充実
	2 - 5	一人ひとりの学びを大切にする就学支援
	2 - 6	新しい時代に対応する教育の推進

基本目標 2 学びを支える教育環境の整備

学習環境	3 - 1	研修体制の改善充実
	3 - 2	一人ひとりの夢を育む創意と工夫あふれる教育環境の充実
	3 - 3	安全・安心な教育施設の整備と防災教育

基本目標 3 地域社会と連携した教育の推進

青少年健全育成	4 - 1	青少年教育と明るい地域づくりの推進
家庭教育	5 - 1	家庭教育の充実
社会教育・文化芸術	6 - 1	社会教育の振興と充実
	6 - 2	図書館機能の整備充実
	6 - 3	文化芸術活動の推進と充実
スポーツ・レクリエーション・余暇	7 - 1	スポーツ・レクリエーション活動の振興
	7 - 2	スポーツ・レクリエーション施設の充実

Ⅱ 教育委員会点検・評価の概要

1 点検・評価の目的

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、毎年事務の管理及び執行状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図りながら、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表しております。これは、教育委員会の責任体制の明確化と教育行政の説明責任を果たすことを目的としております。

2 点検・評価の対象

点検・評価にあたっては、第2次神栖市総合計画及び第2期神栖市教育振興基本計画に基づく施策の主な取組を選定して実施いたしました。

平成30年度におきましては、69の施策のうち、19の施策を対象に事業内容等の点検・評価を実施いたしました。

3 点検・評価の結果

平成30年度教育委員会点検・評価の結果については、施策ごとに記載しております。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会による自己点検・自己評価について客観性を確保するため、教育に関する学識経験者を含む5名の「神栖市教育委員会評価委員会委員」から、施策対象についてご意見をいただきました。

5 神栖市教育委員会評価委員会委員名簿

任期：平成30年8月1日～令和2年3月31日

職名	氏名	備考
委員長	立野 健二	社会教育指導員，元公立学校長
副委員長	池田 明	青少年センター運営協議会委員，元市職員
委員	齊藤 幸治	神栖市スポーツ推進委員，元神栖市PTA連絡協議会会長
委員	高柳 由美子	元特別支援学校教諭
委員	安藤 高子	元幼稚園長

※敬称略

6 点検・評価の実施に関する主な経過

日 程	内 容
令和元年 6月27日 7月23日 8月20日 9月25日	令和元年度 第1回～第4回 神栖市教育委員会評価委員会会議 ・点検評価の概要について説明 ・点検評価対象施策について説明, 質疑
令和元年12月16日	令和元年第12回教育委員会定例会 ・「令和元年度教育委員会点検・評価報告書（平成30年度事業対象）」について報告
令和元年12月18日	令和元年第4回神栖市議会定例会 ・「令和元年度教育委員会点検・評価報告書（平成30年度事業対象）」を提出

Ⅲ 教育委員会の活動状況

1 教育委員会

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関であり、地域の学校教育，社会教育，文化，スポーツ等の振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、重要な役割を担っています。

教育委員会制度の意義としては、①政治的中立性の確保，②継続性，安定性の確保，③地域住民の意向の反映の3つがあります。

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て、任命します。

教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て、任命します。

教育委員会委員名簿

令和元年5月1日現在

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	新橋 成夫	平成30年4月9日～令和2年3月22日
教 育 長 職 務 代 理 者	本間 敏夫	平成31年3月10日～令和5年3月9日
委 員	伊藤 茂子	平成30年3月28日～令和4年3月27日
委 員	安重 洋介	平成28年6月23日～令和2年6月22日
委 員	井上 剛	平成30年12月26日～令和4年12月25日

2 教育委員会の活動状況

(1) 平成30年度教育委員会会議

教育委員会の会議には、定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて開催しています。

会議は原則公開で行い、審議結果については、市ホームページで公開しています。

教育委員会会議	開催回数	議案件数	報告件数
定例会	11回	96件	4件
臨時会	1回	1件	0件

(2) 会議・研修会等 (平成30年度)

平成30年	4月6日	市内小中学校入学式
	5月25日	平成30年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会
	5月28日	平成30年度茨城県市町村教育委員会連合会定期総会
	6月上旬	市内幼稚園・小学校運動会, 市内中学校体育祭
	7月上旬	市内幼稚園・小中学校訪問
	9月上旬	市内幼稚園・小学校運動会, 市内中学校体育祭
	10月上旬	市内幼稚園・小中学校訪問
	10月31日	第1回総合教育会議
	11月1日	「いばらき教育の日」推進大会
	12月2日	小学校駅伝大会
	12月8日	わたしの主張発表大会
平成31年	1月13日	成人式典
	2月24日	さわやかランニング大会
	3月13日	市内中学校卒業式
	3月15日	教育委員会臨時会
	3月20日	市内小学校卒業式

IV 主要事業の点検・評価結果

1 ページに掲載した第2期神栖市教育振興基本計画における3つの基本目標、69の施策ごとに、今年度、点検・評価の対象となった施策を示します。

※重点施策

69の施策		評価対象
1-1 幼児の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実		
施策1	幼児の主体的な活動に配慮した教育環境の充実	
施策2	指導計画や指導方法の充実	○ (P10)
施策3	障がい児や外国人等指導の充実	
1-2 子育て支援を図る幼児教育相談の充実		
施策4	誰もが安心して子育てができる幼児教育相談の充実	○ (P12)
1-3 地域や保護者に開かれた幼稚園経営の推進		
施策5	開かれた幼稚園経営	
施策6	子育て支援体制の充実	○ (P13)
施策7	認定こども園の推進	
1-4 保育所(園)・幼稚園・小学校の連携の強化や接続の促進		
※施策8	保・幼・小連携の強化や接続の促進	
2-1 確かな学力を身に付ける教育の推進		
※施策9	学習指導の充実	
※施策10	主体的な学習態度の育成	
施策11	体験的学習活動の創造	
2-2 豊かな心とたくましい身体を育む教育の推進		
※施策12	生徒指導体制の確立	
※施策13	相談機能の充実	
施策14	心の教育の充実	
施策15	学校体育・健康教育の推進	
施策16	学校給食の充実	
施策17	給食センターの充実	
2-3 人権教育の推進		
施策18	一貫した人権教育の促進	○ (P14)
施策19	学習活動の推進	
施策20	指導体制の強化	
施策21	男女平等の視点に立った教育の推進	
2-4 自立と生きがいを育む障がい児教育の充実		
施策22	就学前の特別支援教育の充実	○ (P15)
施策23	適正な就学を図る就学指導の推進	
施策24	個に応じた指導方法の工夫	
施策25	社会性や人間性を育む交流教育の推進	
2-5 一人ひとりの学びを大切にする就学支援		
施策26	奨学金制度の充実	○ (P17)
2-6 新しい時代に対応する教育の推進		
施策27	神栖市教育振興基本計画の総合的な推進	

生きる力と確かな学力の育成

	施策28	教育委員会事業点検・評価の推進	
	※施策29	情報教育の充実	
	施策30	国際理解教育の推進	○ (P18)
	施策31	情操・福祉教育の充実	○ (P19)
学びを支える教育環境の整備	3-1 研修体制の改善充実		
	施策32	研修体制の改善と充実	○ (P20)
	3-2 一人ひとりの夢を育む創意と工夫あふれる教育環境の充実		
	施策33	学校の適正規模・適正配置の検討	○ (P21)
	※施策34	学校施設・設備・教材等の整備充実	
	※施策35	特色ある学校づくりの推進	
	施策36	地域に根ざす開かれた学校づくりの推進	
	※施策37	教職員の資質の向上	
	3-3 安全・安心な教育施設の整備と防災教育		
施策38	学校施設のバリアフリー化	○ (P22)	
施策39	地震・津波等に対応した防災教育の推進		
地域社会と連携した教育の推進	4-1 青少年教育と明るい地域づくりの推進		
	施策40	青少年健全育成体制の推進	
	施策41	子ども会活動の育成	
	施策42	青少年の体験活動の充実	
	施策43	成人式典の開催	○ (P23)
	5-1 家庭教育の充実		
	※施策44	家庭教育の充実	
	※施策45	子育て講座事業	
	施策46	子育てサポーターの活用	
	施策47	P T A活動の支援	
	6-1 社会教育の振興と充実		
	施策48	社会教育の振興	○ (P24)
	施策49	利便性の高い施設運営	
	※施策50	多様な学習機会の充実	
	施策51	社会教育関連施設の活用促進	○ (P25)
	6-2 図書館機能の整備充実		
	※施策52	図書館資料の収集と管理	
	施策53	学校図書館支援	
	施策54	市内全域での読書環境の向上	○ (P26)
	施策55	使いやすい運営と専門的なサービスの提供	
	施策56	青少年に対するサービス	
	6-3 文化芸術活動の推進と充実		
	施策57	文化関連団体の支援・育成	○ (P27)
	施策58	文化活動指導者の確保・育成	
	施策59	芸術鑑賞や文化活動への参加促進	
	施策60	歴史民俗資料館の充実	○ (P28)
	施策61	芸術・文化施設の整備充実	
施策62	文化財学習の推進		
施策63	文化財調査・保護活動の推進		

7-1 スポーツ・レクリエーション活動の振興		
施策64	(公財)文化・スポーツ振興公社の効果的活用	
※施策65	スポーツの推進	
施策66	指導者の人材確保・育成	
施策67	新たなスポーツの導入	○ (P29)
7-2 スポーツ・レクリエーション施設の充実		
施策68	施設の充実と利用促進	
施策69	学校体育施設の効果的な活用	○ (P30)

施策概要	施策2 指導計画や指導方法の充実		担当課	教育指導課
	・ 発達の特性や実情を考慮した適切な指導計画を作成し、引き続き学びの連続性を踏まえた指導の充実に努めます。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1	生きる力と確かな学力の育成	
	施策の体系	1-1	幼児の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実	

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の教育支援計画の作成及び活用を推進 ○ 保幼小の円滑な接続を意識した取組 			
平成30年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児の就学に係る教育支援説明会及び調査委員会において、個別の教育支援計画の作成や各種検査（主に遠城寺式発達診断検査）の実施方法及び活用等の説明を行い理解を深めた。 ○ 幼児の相談教室（おはなしひろば）や小学校等による園・所訪問及び相談の実施により、園・所や個に応じた支援や情報の共有が行えた。 ○ 平成30年度より、保幼小の円滑な接続のため、全ての幼児教育施設に「園内リーダー」、小学校に「保幼小接続コーディネーター」を位置付け、「接続期に目指すこともの姿」を意識したスタートカリキュラムを協働作成、共通理解を図り効果をあげた。 			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の教育支援計画の作成及び活用のより一層の推進を図る。 ○ 神栖市「アプローチカリキュラム スタートカリキュラム」や学区毎に作成した「スタートカリキュラム」の積極的な活用及び研修の開催等により、幼児期と児童期の「学び」をつなげる。 			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の教育は大変重要と考えられる。公立・私立幼稚園との連携を密に行い、より一層の推進を図ってほしい。 ・ 当委員会の中でも施策2 2との関連について意見が出ましたが、どちらも重なる所が多く、難しいと思うが、実施状況欄に記載のある白丸上2つについて、特別支援教育の内容に感じたので、今後、施策内容について整備が必要なのではないかと思います。 ・ 保幼小の円滑な接続のために、更に様々な取り組みをされたことは、とても意義のあることと思います。 ・ 活動の取組に成果が出ていることが確認できたので、先進地域として今後、他市町村への指針となる活動に期待します。 			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策2 指導計画や指導方法の充実		担当課	学務課
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の特性に応じ、生きる力を育む学習を「遊び」を通じて実践します。 ・教材・教具を工夫し、主体性を伸ばします。 			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系	1-1 幼児の発達特性等に対応した幼稚園教育の充実		

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領改訂に伴い、幼児の発達の特性に配慮した指導計画を実施するための教育環境の整備をする。 			
平成30年度の実施状況	<p>幼稚園において、幼児期にふさわしい生活を展開するため、「幼児期の育てほしい子どもの姿」を踏まえた教育課程の編成、幼児の興味や関心、発達の実情などに応じた具体的なねらいや内容を明確に設定した指導計画を作成し、計画が円滑に実施できるよう教育環境の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○補助教諭等の雇用 <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託園長 3名・補助教諭 32名・生活指導員3名 【計38名】 ○新規採用教員・中堅教諭等の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・研修等の旅費・教職員健康診断・教育研修会負担金等の予算措置を行い、教諭の資質向上に努めた。 			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<p>創意工夫を生かした特色ある教育課程を編成し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る指導計画の作成と実践に向け、よりよい教育環境の整備を実施していく。</p>			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・各園の提出資料により記載しているとのことだが、学務課として活動した実績（各園への支援・助言・指導等）を記載し、評価の見直しをお願いします。自己評価がBであれば未達成項目についての記載及び要因分析等を行い次年度に反映が必要と思われます。（ヒアリング後見直し済み） ・平成30年度の実施状況及び今後の方針の記載内容について修正が必要と思われます。（ヒアリング後見直し済み） 			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策4 誰もが安心して子育てができる幼児教育相談の充実		担当課	教育指導課
	・ 幼児の相談教室「おはなしひろば」が窓口となり、子育ての不安を持つ保護者に教育支援や相談活動を随時行います。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系	1-2 子育て支援を図る幼児教育相談の充実		

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学前の子どもを対象に、発達のうえで気になる面や障がいなどについて早期に相談し、個に合わせた対応をする。 ○ 『子育て相談の場』として、身近で気軽に利用できるようにする。 ○ 幼児教育施設、関係機関との連携を密にして、スムーズな就園、就学ができるように支援する。 			
平成30年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学前の子どもと親を対象に相談を実施した。子どもの遊びを通して、親に遊び方の紹介、心配をより軽くする手立てを共に考える、スキンシップ、ほめることの大切さを知らせる等の取組を行った。 ○ おはなしひろば来室による相談人数 497名 相談数 2233回 言語聴覚士訓練日数 48日 訓練人数 90名 訓練数 196回 (発音改善51名) (言語聴覚士年間派遣回数 40日/H29 48日/H30 56日/R1) ○ 夏季教育相談 38件、おはなしひろば以外での就学相談 40件 巡回教育相談 141名 			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に応じた教育支援や教育相談の充実のために、幼児教育相談員の研修の充実を図る。幼児期と児童期の「学び」をつなぐ支援も行う。 ○ 言語聴覚士の訓練日数を増やし(48日/年→56日/年)、より充実した支援を行う。 			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ いつでも、どこでも対応できるよう、人材の確保に努め、その対応と相談に努めてほしい。 ・ 「おはなしひろば」は、子育てに不安をもつ保護者のみならず、幼児教育施設の現場職員にとっても心強い相談の場であると思います。密な連携が安心した子育てに繋がっていくことを願います。 ・ 言語聴覚士訓練は保護者だけでなく、職員にとってもいい研修となっており、効果が出ていると思います。また、数値で具体的効果を把握していることは、今後の活動に有効と思われます。 			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策6 子育て支援体制の充実		担当課	学務課
	<ul style="list-style-type: none"> ・就労する保護者を支援するため、預かり保育をすべての幼稚園で実施し、子育て支援の充実を図ります。 ・公立・私立幼稚園の格差を少なくし、幼稚園就園を促進するため、幼稚園就園奨励費補助金や通園バスに係る補助金を交付し、幼児教育の振興と充実を図ります。 			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系	1-3 地域や保護者にかかれた幼稚園経営の推進		

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の子育て支援のため、引き続きすべての市立幼稚園で預かり保育を実施する。 ・私立幼稚園の設置者が在園する園児の保護者に対し、入園料及び保育料を減免する場合に就園奨励費補助金を支給する。 ・私立幼稚園通園バスに係る経費を補助することにより、公・私立幼稚園間の格差を少なくし、幼稚園教育の振興と充実を図る。 			
平成30年度の実施状況	<p>○公立幼稚園5園すべての園で、預かり保育を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施状況状況（人数は延べ） 定期利用19人 一時利用2,018人 <p>○私立幼稚園に在園する児童に対し、私立幼稚園就園奨励費補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数 飯沼幼稚園 4件 銚子幼稚園 24件 ・補助額 3,398,000円（うち国庫補助金1,132,000円） <p>○平泉幼稚園通園バス運行費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助額 9,711,562円 			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。</p> <p>A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。</p> <p>B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。</p> <p>C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。</p> <p>D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<p>保護者の経済的負担の軽減を図り、公・私立幼稚園間の格差をなくすことにより、園児が平等に教育を受けられるようにする。</p>			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価はBであるが、平成30年度の活動実績は目標が達成されていると判断されま。目標・計画・実績を再確認し、評価の見直しを行ってはいかがでしょうか。（ヒアリング後見直し済み） ・預かり保育の実施により保護者の子育て支援に充分つながっていると思います。 			
-------------	---	--	--	--

施策概要	施策 18 一貫した人権教育の促進		担当課	教育指導課
	・幼・小・中が連携し、発達段階に応じた人権教育を推進するとともに、家庭や地域との連携も深めます。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系	2-3 人権教育の推進		

平成30年度の目標・計画	<p>○人権感覚を身に付け、人権意識を育む人権教育の推進体制の確立を図るための幼児・児童・生徒や地域の実態等を踏まえた計画（全体計画・推進計画・年間指導計画等）の作成</p> <p>○家庭・地域社会に対する人権課題の正しい理解と啓発活動の推進を図るための学校だより、ホームページの活動の充実</p>			
平成30年度の実施状況	<p>○市内すべての小・中学校において人権に関する全体計画が作成された。</p> <p>○市内幼稚園・認定こども園が、市保幼小接続に関する研修会において「幼児期に育てたい10の姿」の中で、道徳性・規範意識の芽生えと協同性を意識した内容を共有した。</p> <p>○小学校においては、幼児教育アドバイザーを講師として全職員対象の校内研修を実施した。</p> <p>○学校だよりやホームページを活用し、家庭や地域に学校で心がけている人権意識について伝えた。</p>			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。</p> <p>A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。</p> <p>B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。</p> <p>C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。</p> <p>D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	○人権教育の全体計画・推進計画・年間指導計画等の見直しによる作成			

評価委員からのコメント	<p>・人権教育について、地域との連携に一步踏み込んだ計画を作成してほしい。</p> <p>・平成30年度はPLAN, DOの活動であることが確認できたので、次年度以降はCHECK, ACTでフォローし、継続した効果ある活動に期待します。</p>			
-------------	---	--	--	--

施策概要	施策 2 2 就学前の特別支援教育の充実		担当課	教育指導課
	・市の関係機関と各保育所(園)・こども園・幼稚園の連携を図ることで、就学前の特別支援教育の充実に努めます。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1	生きる力と確かな学力の育成	
	施策の体系	2-4	自立と生きがいを育む障がい児教育の充実	

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育連携協議会及び特別支援教育連携に係る研修会の充実を図る。 ○ 幼児教育と小学校教育のカリキュラムの接続を目指す。 			
平成30年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年3回特別支援教育連携に係る研修会を実施（ニーズに合った研修会の開催） （関係機関の紹介・就労に向けて・ペアレントトレーニング） ○ 幼児教育との円滑な接続を意識した小学校入学時の教育課程【スタートカリキュラム】を小学校区毎（幼児教育施設と小学校職員）に作成，共有 ○ 積極的な授業参観（幼小中高関係機関に案内） ○ 接続期に目指す子どもの姿の意識化（小学第1学年1学期計画訪問時指導案に明記） ○ 幼小接続に係る研修会（幼児教育施設希望者対象 48名参加）の開催 ○ 幼小接続ポスターの作成と配布 			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され，計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され，施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され，施策の進捗が少し認められるが，取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず，施策の進捗がほとんど認められないため，取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず，施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ より特別支援教育連携協議会及び特別支援教育連携に係る研修会の充実を図る。 （課題：連携の充実，医療機関・学校・児童生徒を繋ぐには等） ○ 幼児教育と小学校教育のカリキュラムの見直し及び接続を目指す。 ○ 幼小接続に係るより正しい理解と啓発活動を行う。 			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・この段階での支援教育とは，大変難しい問題であると思うが，幼小接続期を考えると，専門性の職員の充実が必要だと思う。そのあたりの人材確保のための予算確保に努めてほしい。 ・特別支援教育を進める環境がより広く専門的なネットワークの中へと変化してきていると感じたので，引き続き施策の充実を図ってほしい。 ・接続期に目指す子どもの姿の意識化は，より具体的に捉えることで目標につながる取組だと思います。 ・関係機関の紹介による見える化で実施効果が出ていることが確認でき，また，フェイス toフェイスの活動により，より効果のある活動となっていると思います。 ・保幼小の円滑な接続のために，更に様々な取り組みをされたことは，とても意義のあることと思います。 			
-------------	---	--	--	--

施策概要	施策22 就学前の特別支援教育の充実		担当課	学務課
	・市の関係機関と各保育所(園)・こども園・幼稚園の連携を図ることで、就学前の特別支援教育の充実に努めます。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系	2-4 自立と生きがいを育む障がい児教育の充実		

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・就学時健康診断時にスクリーニング検査を実施し、教育相談や幼児の相談教室「おはなしひろば」につなぐことで、就学時の不安を取り除く。 ・神栖市児童生徒介助員派遣実施要項に基づき、特別支援学校が適当であると判断された障がい児及び疾病その他の理由により介助を必要とする者で、保護者が神栖市立小中学校に就学を希望し、当該学校長から介助の要望があり、教育長が認めた児童及び生徒に介助員を派遣する。 			
平成30年度の実施状況	<p>○就学時健康診断全14校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新小学1年生 全849名スクリーニング検査実施 内31名を教育相談等へつないだ。 <p>○神栖市児童生徒介助員派遣実施要項に基づき、状況調査実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助員配置要望件数 小学校 96件 中学校 16件 ・介助員派遣件数 小学校 92件 中学校 13件 			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	関係各所と協力し、障がいのある幼児がスムーズに就学できるよう努める。			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度活動実績には各項目の実施回数のみ記載されています。説明を受けた範囲では過小評価とされます。各活動により得られた効果を記載し、自己評価の見直しをお願いします。(ヒアリング後見直し済み) ・評価シートに記載以外での実績でも評価される項目があることより、実施状況に追記することを推奨します。(ヒアリング後見直し済み) ・現場との情報交換、現状の把握、臨時職員(補助員)の配置、要支援児の支援はもとより、保護者対応等、十分な対応とされます。目標は達成されているのではないかと。(ヒアリング後見直し済み) 			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策 2 6 奨学金制度の充実		担当課	学務課
	・経済的に就学が困難な学生に対し、高等教育を受ける機会を支援するため、大学生には学費の貸与、高校生には学費を給与します。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系	2-5 一人ひとりの学びを大切にする就学支援		

平成30年度の目標・計画	・募集時期を入学後の4月から、入学前に変更し、応募者の増加に努める。			
平成30年度の実施状況	○募集時期を1月に変更 ・奨学資金貸与者（大学） 平成30年度 新規2名 平成31年1月募集 新規7名 ・奨学資金給与者（高校） 平成30年度 新規1名 平成31年1月募集 新規2名			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	広報紙、ホームページ等の活用や、市内中・高等学校へチラシを配布する等さらなる制度の周知を図る。			

評価委員からのコメント	・自己評価はBであるが、平成30年度の活動実績は目標が達成されていると判断されず。奨学金回収についても効果が出ている旨の説明もあり、目標・計画・実績を再確認し評価の見直しを行ってはいかがでしょうか。（ヒアリング後見直し済み） ・目標計画に対して結果が出ている実施状況だと思います。評価を上げてもいいのではないかと思います。（ヒアリング後見直し済み） 今後も更なる周知により制度が充実していくと希望が湧いてくるのではないのでしょうか。			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策30 国際理解教育の推進		担当課	教育指導課
	・外国語指導助手（A L T）の活用を通して、国際社会に対する理解を深め、広い視野を持った児童生徒の育成を図ります。 ・自分の考えや意見を表現できるコミュニケーション能力の育成に努め、国際社会で活躍できる人間の育成を目指します。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1 生きる力と確かな学力の育成		
	施策の体系	2-6 新しい時代に対応する教育の推進		

平成30年度の目標・計画	○小学校では、新学習指導要領における中学年で外国語活動、高学年での外国語科の実施に向けて各学校の年間指導計画やA L Tの活用方法、チーム・ティーチングの在り方について検討する。 ○中学校では、4技能の総合的な育成と、英語で行うことを基本とする授業の在り方について検討する。			
平成30年度の実施状況	○移行期間によりA L Tを活用した授業時数が増えた ・低学年10.6時間 中学年32.1時間 高学年53.2時間 ・中1 48.0時間 中2 45.6時間 中3 43.0時間 ○教員対象の研修の実施 ・小学校年間指導計画の検討のための研修 1回 ・小学校5・6年担任を対象とした指導法研修（A L T含む） 1回 ・小学校外国語活動の公開及び小中連携の研修（A L T含む） 1回 ○A L Tのミーティング 年間11回			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	○新学習指導要領に対応した指導・評価の在り方についてさらに検討する。 ○A L Tを増員し、児童生徒がA L Tのいる環境で英語を学ぶ機会を増やす。			

評価委員からのコメント	・現場の要望に答えられる予算確保に努めてほしい。 ・A L Tのいる環境で学びの機会が増えることを期待しています。 ・教員へのアンケートにより教員の不安項目を把握した取り組みがなされていることが確認できたので、今後さらに外国語指導が重要視され、教員の負担が軽減されることを希望します。			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策31 情操・福祉教育の充実		担当課	文化スポーツ課
	・家庭・地域との連携の中で、人や自然と直接関わる様々な体験を通し、他者をいたわる気持ちをはじめとする豊かな情操や規範意識・社会性の育成を目指します。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	1	生きる力と確かな学力の育成	
	施策の体系	2-6	新しい時代に対応する教育の推進	

平成30年度の目標・計画	・地域の大人の協力により、体験活動や交流活動の機会を提供し、子どもたちの居場所を充実させるとともに、人との関わりや達成感をとおして豊かな心を育むことを目的に、地域こども教室を実施する。 ・雪の降らない温暖な神栖市に暮らす児童が、雪国での野外活動を通して、自然の偉大さを学ぶとともに、市内小学校児童間の交流を深めることを目的に、児童体験交流事業を実施する。			
平成30年度の実施状況	・地域こども教室 期間：平成30年6月から平成31年2月の土曜日 場所：柳川小学校、軽野小学校 【柳川小学校区】 コース：「エンジョイスports」「パソコンで遊ぼう」「波崎はやうち太鼓」 実施回数：12回 参加者数：61人（実人数） 【軽野小学校区】 コース：「伝統芸能教室（ささら舞）」実施回数：19回 参加者数：65人（実人数） 各小学校区在住の児童を対象に、地域の大人が講師となり、高校生ボランティアの協力も得ながら実施された。子どもたちがそれぞれ関心のあるコースに参加し、波崎はやうち太鼓やささら舞のコースは最終日に発表会が行われた。 ・児童体験交流事業 日程：平成31年2月9日（日） 場所：栃木県那須町 マウントジーンズ那須 参加者数：29人（小学校5、6年生対象） 現地ガイドの指導のもと、そり遊び、スノーシュー体験などを行い、雪国の自然に親しむ貴重な経験となった。また、他校の児童とともに行動することで、交流を深め協調性を育む機会となった。			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	・子どもたちの社会性の向上や豊かな情操の育成を目指し、今後とも地域の協力を得ながら、事業を継続していく。 ・地域こども教室については、指導者の育成、確保が課題である。教室の事業内容や開設方法について広く一般に周知することにより、地域の協力や、潜在的マンパワーを掘り起こしていく。			

評価委員からのコメント	・施策の目的は達成され、進捗が認められると思うが、柳川小の地域でも、地域の高齢者等で指導者の確保も必要と考えられるので、市としての対策を考えてほしい。また、軽野学区の「ささら舞」は伝統芸能として、市、地域で継続してほしい。 交流事業も含めて、評価としてSにしてもいいのでは。 ・地域こども教室は指導者の都合で2地域の活動となっているとのことだが、地域こども教室開催場所の拡充を目指し、指導者の発掘に向けた活動、広報支援等検討願います。 ・地域のコミュニティー力を活かしながらの「こども教室」は豊かな心を育むことに必ずつながっていくことと思います。すぐに結果は表れないとは思いますが、体験や交流は大人になっても大切なものとして各自の中で育てていくのではないのでしょうか。 ・当委員会の中でも出ましたが、児童体験交流事業と併せて、実施後の様子等についても広く広報していくことで、周知、関心が広がり、事業が充実していくことを希望します。			
-------------	---	--	--	--

施策概要	施策 3 2 研修体制の改善と充実		担当課	教育指導課
	・より良い指導者の育成を図るため、授業研究や各種の研修体制の充実に努めます。			
教育振興 基本計画の 位置づけ	基本目標	2 学びを支える教育環境の整備		
	施策の体系	3-1 研修体制の改善充実		

平成30年度の 目標・計画	<p>○どの学校でもどの学級でもどの教員でも、主体的・対話的で深い学びの授業実践ができる体制の強化（全体研修1回，中学校区ブロック別研修6回，フォーラム1回）</p> <p>○神栖市学力向上プロジェクトの趣旨を理解し，実践，継承に向けた校内研修体制を推進できるアクティブ・ティーチャー及び教師集団の育成（アクティブ・ティーチャー研修2回）</p>			
平成30年度の 実施状況	<p>○全体研修 4月11日(水) 会場：神栖第三中学校</p> <p>○中学校区ブロック別研修 第1回 5月24日(木) 会場：神栖第四中学校区 第2回 6月8日(金) 会場：神栖第一・三中学校区 第3回 10月15日(月) 会場：波崎第三中学校区 第4回 11月10日(土) 会場：神栖第二中学校区 第5回 1月23日(水) 会場：波崎第一中学校区 第6回 2月8日(木) 会場：波崎第二・四中学校区</p> <p>○フォーラム 第4回中学校区ブロック別研修と同日開催</p> <p>○アクティブ・ティーチャー研修 第1回 9月18日(火) 会場：波崎第三中学校，植松小学校 第2回 11月21日(水) 研修視察（視察校：私立昌平中学校）</p> <p>※研修視察以外の8回の研修会に前京都女子大学教授：井上一郎先生を講師として招聘）</p>			
平成30年度の 取組に対する 自己評価	A	<p>S：目標が達成され，計画以上の施策の進捗が認められる。</p> <p>A：目標が概ね達成され，施策の進捗が認められる。</p> <p>B：目標の一部が達成され，施策の進捗が少し認められるが，取組に対する努力が必要である。</p> <p>C：目標がほとんど達成できず，施策の進捗がほとんど認められないため，取組の改善が必要である。</p> <p>D：目標を全く達成できず，施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<p>○主体的・対話的で深い学びの授業実践の自校化・自分化（中学校区ブロック別研修6回）</p> <p>○校内研修体制を推進できるアクティブ・ティーチャー及び教師集団の育成（アクティブ・ティーチャー研修2回）</p>			

評価委員からの コメント	<p>・主体的に校内研修が出来るように人材確保のための予算確保に努めてほしい。</p> <p>・現状ほぼ完成された活動となっていることが確認できたので，継続，更なる体制の改善と充実を希望します。</p>			
-----------------	---	--	--	--

施策概要	施策 3 3 学校の適正規模・適正配置の検討		担当課	学務課
	<ul style="list-style-type: none"> 学校の適正規模・適正配置を計画的に推進します。 地域性やその成り立ちを充分踏まえた上で地域の合意を重視しながら学区変更の検討を進めます。 			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	2 学びを支える教育環境の整備		
	施策の体系	3-2 一人ひとりの夢を育む創意と工夫あふれる教育環境の充実		

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> 神栖市学校適正規模適正配置基本計画にある，小学校で概ね12学級以上，中学校で概ね9学級以上という原則は踏まえつつ，地域の実情等を含め弾力的に検討する。 統合したやたべ土合小学校の経過に留意し，統合によるデメリットを最小限にする。 			
平成30年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月 旧矢田部小学校・旧土合小学校を統合 遠距離通学となる旧矢田部小学校区の児童の保護者のうち，申請者に路線バス等の通学費を補助し，児童の遠距離通学の負担軽減及び保護者の経済的負担軽減を図った。 <p>申請件数：84件 交付金額：1,327,660円</p>			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され，計画以上の施策の進捗が認められる。</p> <p>A：目標が概ね達成され，施策の進捗が認められる。</p> <p>B：目標の一部が達成され，施策の進捗が少し認められるが，取組に対する努力が必要である。</p> <p>C：目標がほとんど達成できず，施策の進捗がほとんど認められないため，取組の改善が必要である。</p> <p>D：目標を全く達成できず，施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<p>神栖市学校適正規模適正配置基本計画を踏まえつつ，小規模校のメリットを最大化し，デメリットを最小化することができるようであれば弾力的に検討をしていく。</p>			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> 評価シート記載内容が抽象的であると思われます。説明を受けた範囲では目標が達成されていると判断されます。詳細の実施項目・実績を記載し，評価の見直しを行ってはいかがでしょうか。（ヒアリング後見直し済み） 今後の方針に期待するとともに，適正規模・適正配置後の状況（現状）についても経過に留意していくことが大事だと考えます。 			
-------------	---	--	--	--

施策概要	施策 3 8 学校施設のバリアフリー化		担当課	教育総務課
	・学校施設は災害時の避難所としての役割や保護者や地域住民等、多様な人々が利用する場であることから、施設を安全に利用するための対策としてバリアフリーを推進します。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	2 学びを支える教育環境の整備		
	施策の体系	3-3 安全・安心な教育施設の整備と防災教育		

平成30年度の目標・計画	小中学校の新築・増築工事においては、車いす使用者用トイレの設置、廊下の幅員の確保、段差の解消などに努めるほか、トイレ改修工事においては、誰もが利用できるバリアフリートイレの設置を目指します。 今年度の具体的な工事計画として、神栖第二中学校の校舍増築工事、大野原西小学校・やたべ土合小学校などの改修工事を予定しています。			
平成30年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・神栖第二中学校校舍増築工事：車いす使用者用トイレの設置、廊下の幅員の確保、段差の解消などを設計に反映し、工事を着手（→令和元年度末に工事終了予定） ・大野原西小学校：車いす使用者用トイレの設置 ・やたべ土合小学校：車いす使用者用トイレの設置 ・神栖第三中学校：スロープの設置 <p><参考> 車いす使用者用トイレの設置 全小中学校22校中、11校設置済み 段差の解消（スロープの設置）全小中学校22校中、22校設置済み</p>			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	今年度より策定中である学校施設等長寿命化計画などを参考に、一部整備されていない施設については、随時バリアフリー化を推進していきます。			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の現状がよく理解できました。財政面も絡んでくると思うが、各施設に求められる対策を最優先に考慮しつつ計画的に整備を進めていただきたい。 ・予算の伴う事業なので、誰もが利用しやすい学校施設の場として引き続き事業の推進に努めてください。 ・施策概要と今後の方針に齟齬がない年度計画となるよう取り進め願います。 			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策 4 3 成人式典の開催		担当課	文化スポーツ課
	<ul style="list-style-type: none"> ・新成人を祝い励ますことを目的として、成人式を開催します。 ・新成人で組織する成人式実行委員会が企画・運営を行い、開催していますが、広報紙やホームページによる実行委員の募集への応募がなく苦慮していることから、市内中学校や高校（リーダーズや高校生会など）への働きかけを行い、早い時期での実行委員の人選を図ります。 			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	施策の体系	4-1 青少年教育と明るい地域づくりの推進		

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・成人として、地域社会の一員としての自覚を促し、社会活動への参加促進を図るため、新成人による実行委員会を結成し、成人式典の企画・運営をする。 			
平成30年度の実施状況	<p>成人式典 日程：平成31年1月13日（日） 場所：神栖市文化センター 対象者：1,062人 出席者：750人（うち市外在住者87人）</p> <p>広報紙に実行委員の募集記事を掲載するとともに、市内中学校に協力を依頼し、生徒会経験者などに連絡をとった結果、27名の新成人が実行委員として式典に参加した。月1回の実行委員会会議において式典の企画をし、恩師のメッセージビデオの作成、当日の式典運営など、実行委員が中心となって式典をつくりあげた。</p>			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を活用し、より充実した魅力ある成人式典の開催を目指すとともに、創意工夫をしながら、事業の継続を図っていく。 ・式典の企画については、新成人の意見を取り入れながら、今後も内容を検討していく。 			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市の担当者は大変でしょうが、今後の方針のとおり、創意工夫をしながら、事業の継続を図ってほしい。 ・平成25年度より現企画方式となり参加者の増加が確認できたが、実行委員による活動は、社会活動への参加という面で必要と思われれます。一方で実行委員人選に苦労がうかがえたことにより、引き続き人選リードの継続をお願いします。 ・成人式典への出席率も高く、成人される方の意識も感じられます。ビデオメッセージの内容や式典後の新成人の感想、アンケートなど試行錯誤が大変かと思いますが、実行委員会を中心に事業の充実が図れることを期待します。 			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策48 社会教育の振興		担当課	文化スポーツ課
	・県や関係機関と連携しながら、様々な創意工夫による社会教育事業の効果的な啓発活動を推進するほか、学習機会等についても充実を図ります。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	施策の体系	6-1 社会教育の振興と充実		

平成30年度の目標・計画	・青少年の理科離れが取りざたされるなか、鹿行5市で実行委員会を組織し、「青少年のための科学の祭典」を開催することにより、実験や工作を通して科学の面白さ、楽しさ、不思議さを体験する機会を提供し、科学への興味・関心を促す。(会場は5市輪番) ・県が子どもの発達段階に応じて作成している「家庭教育支援資料」を配布・活用し、子育てのヒントや課題についての啓発や情報提供を行う。また、メディア講座や生教育といった、児童の発達段階に応じた子育て課題についての学習機会を提供する。			
平成30年度の実施状況	・青少年のための科学の祭典 日程：平成30年11月18日(日) 会場：行方市立北浦中学校 参加者：1,560人 鹿行5市による実行委員会及び推進委員会を組織し、平成15年度から輪番で開催している。(神栖市は平成29年度に事務局を担当。)30件の出展があり、身近なものを使った実験や工作をとおして、子どもたちが科学について考えたり、面白さを体験する機会を提供した。 ・家庭教育ブックの配布・活用 (家庭教育学級・就学児子育て講座、企業訪問家庭教育等で活用) 『ひよこ』(3~5歳) 『すくすく育て』(就学前~小学3年生) 『つばさ』(小学4~6年生) 『おてつだいちょう』(新1年生) ・メディア教育 平成30年7月13日(金) 参加者：24名 演題：「楽しいコミュニケーションを考えよう！家庭での対話編」~子どものネットトラブルを防ぐための3つの対策~ 講師：LINE株式会社公共政策室 公共政策担当 高橋 誠 氏 ・生(きる)教育講座 平成30年8月22日(水) 参加者：49名 演題：「いのち、それは奇跡~生きる力を育もう~」 講師：龍ヶ崎済生会病院 産婦人科医師 陳央仁氏			
平成30年度取組に対する自己評価	A	S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	・今後とも、県、近隣市など関係機関と連携しながら、社会教育事業の活動の充実に努めていく。 ・学校を通して募集チラシを配布しているが、参加者が少ないため、事業内容、開催方法の改善を検討していく。			

評価委員からのコメント	・青少年の教育は重要であり、他市町村と連携して教育事業の活動に努めてほしい。 ・青少年のための科学の祭典は、地域企業の協力もあり効果があることが確認できたが、講座については、参加者が少ないと思われるので、要因分析、関連部署との連携を強化し参加者増加に向けた取組を強化願います。 ・家庭教育ブックは具体的で分かりやすく、幼稚園でも配布・活用をされていたが、配布部数が少なく、コピーをして活用していたこともあるため、さらに事業を充実していくためにも、配布部数を検討し、改善されていくことを願います。			
-------------	---	--	--	--

施策概要	施策 5 1 社会教育関連施設の活用促進		担当課	中央公民館
	・社会教育施設を適切に活用するため、関係各課と連携しながら必要な整備を行うとともに、内容の充実を図ります。 ・公民館4館だけでなく関連施設と連携を図りながら、学習機会と場所を積極的に提供します。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	施策の体系	6-1 社会教育の振興と充実		

平成30年度の目標・計画	(1) 定期講座の開設 生活文化の振興と社会福祉の増進を図るため、市民の多様な学習意欲に応えられるような様々な講座を検討し、学習機会の提供に努める。 (2) かみす市民カレッジ 多様化する市民の学習需要に応え、専門的かつ高度な講座及び教室を開設し、生涯学習の推進と普及を図る。 (3) 文化芸能公演事業 文化ホールにおいて、文化芸能鑑賞の機会を提供する。 (4) 託児付講座事業 子育て世代に対して、社会教育の場を提供する。			
平成30年度の実施状況	平成30年度は124の講座・事業を実施し、延べ9,864名の受講・参加者があった。 ①通年講座 3講座 (45回) 617人 ②前期講座 20講座 (188回) 2,731人 ③後期講座 19講座 (182回) 2,451人 ④短期講座 68講座 (127回) 1,735人 ⑤かみす市民カレッジ 4回 127人 ⑥託児付講座事業 28回 140人 ⑦文化公演会 3回 1,963人 ⑧レクリエーション事業 4回 100人 今後の参考資料として受講者に実施しているアンケートにおける満足度は「満足している」が過半数を占めており、概ね好評であることから目標は達成されてると考える。			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	公民館は市民の学習と活動の拠点として取組を支援する必要があることから、多様化する市民ニーズに対応するよう常に情報収集と研究に努め、社会性や地域性に適応した講座を実施して学習機会の充実を図る。			

評価委員からのコメント	・生涯学習の中心である公民館事業として、目標は達成されていると思います。市民のニーズに答えた事業展開を引き続き行ってください。今後も重要な事業と考えます。 ・何かを学びたいと思った時にその環境が整っているということが何よりだと思います。 ・活動実績より取組に努力がうかがえます。市民ニーズの情報収集方法の検討により更なる効果を期待します。			
-------------	---	--	--	--

施策概要	施策 5 4 市内全域での読書環境の向上		担当課	中央図書館
	・うずも図書館、公民館図書室の効果的な運営を行うとともに、保育園など関連施設と協力して、読書活動の向上を図ります。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	3	地域社会と連携した教育の推進	
	施策の体系	6-2	図書館機能の整備充実	

平成30年度の目標・計画	<p>【H29当初の状況】2町合併後逡減していた実利用者率について、15%以上となることを目標として各種行事の開催や市民による展示等を行っており、H29は14.02%でした。H30年度は中央図書館のエアコン改修工事による休館が約4ヶ月あり利用者数の減少が見込まれるため12%を目標としました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リサイクル図書の医療機関への案内通知および配布（H29実施：8機関 278冊配布） ○学校や保育園等への配本図書の各図書館図書室での受渡し（H29：9カ所 45回）→（H30：9カ所 30回） ○波崎地区のスーパー、コンビニや医療機関へ図書館通信等や催し物（おはなし会等）案内の設置 ○矢田部公民館でおはなし会の実施（5回） 			
平成30年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平成30年度の実利用者率については、13.68%であり前年比-0.34%でした。 ○医療機関の待合室等で市民が利用できるよう、リサイクル図書を配布しました。（10機関 391冊） ○配本図書を各機関の近くで受け取れるよう、各図書館図書室で受渡しを行いました。（8カ所 23回） ○図書館通信や行事の案内ポスター等を波崎地区のスーパーやコンビニ、医療機関等に設置しPRに努めました。 ○中央図書館工事休館中は、矢田部公民館内でおはなし会を実施しました。参加者が多かったため、更に中央図書館開館後も継続して矢田部公民館図書室にておはなし会を継続実施しました。（7回実施 81人参加） 			
平成30年度取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<p>リサイクル図書の医療機関への案内通知および配布、配本図書の各図書館図書室での受渡し、波崎地区のスーパー、コンビニや医療機関へ図書館通信等や催し物（おはなし会等）案内の設置、矢田部公民館でおはなし会の実施は、市内全域での読書環境を向上させるのに有効と思われるので今後も継続して実施予定です。</p>			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・実質利用率目標設定値は中央図書館改修工事期間を減じた値で見直し自己評価を再確認すべきと思われます。（ヒアリング後見直し済み） 他の活動については予想以上の成果とのことで、各活動の取組に努力がうかがえます。新規活動についてはタイムリーな活動となるよう取り進め願います。 ・リサイクル図書の配布、図書館通信や行事案内のPRなどに進捗が認められ、読書環境が良くなってきたのだと思います。案内PRの前に立って関心を寄せている姿を何度か見かけました。 ・矢田部公民館でのおはなし会に柔軟に対応していただいたことは、とても良かったと思います。ニーズを把握しつつ、ぜひ継続してください。 ・幼児のうちから本に向かうような事業展開を検討してはどうか。市の中でも人が集う場所、コミュニティーセンター4箇所にも図書コーナーを設けてみてはどうか。事業については大変良く行っているため、評価はAでも良いと思う。（ヒアリング後見直し済み） 			
-------------	---	--	--	--

施策概要	施策57 文化関連団体の支援・育成		担当課	文化スポーツ課
	・市民の創作活動の成果を発表・展示する場を確保するとともに、文化団体主催の事業に対して、後援を行います。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	施策の体系	6-3 文化芸術活動の推進と充実		

平成30年度の目標・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の創作活動の成果を発表・展示する場の確保と、市民が芸術に触れる機会を提供し、市の芸術文化の振興を図るため、芸術祭及び美術展を開催する。 ・市の教育、学術、文化の振興に寄与すると思われる事業を行う団体に対し、教育委員会の名義の使用を承認し、後援を行う。 			
平成30年度の実施状況	<p>芸術祭…期間：平成30年10月20日（土）から11月4日（日）まで （移動展 10月31日（水）から 11月4日（日）まで） 場所：文化センター，中央公民館，市民体育館，矢田部公民館 参加者数：（展示部門）21種目505人，（発表部門）11種目2,161人 入場者数：（展示部門）5,721人，（発表部門）5,533人</p> <p>美術展…期間：平成31年3月5日（火）から3月10日（日）まで 場所：市民体育館 応募者数：4部門162人 入場者数：602人 平成30年度は10周年記念事業として、過去の受賞作品を一挙に展示した。</p> <p>後援…承認件数 31件 混声合唱団定期演奏会，神栖ウィンドアンサンブル定期演奏会など</p>			
平成30年度の取組に対する自己評価	S	<p>S：目標が達成され，計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され，施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され，施策の進捗が少し認められるが，取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず，施策の進捗がほとんど認められないため，取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず，施策の進捗が全く認められない。</p>		
今後の方針	<p>芸術祭及び美術展については，運営上の反省点やアンケート結果などを参考にし運営方法の改善を図りながら，市民が優れた芸術に触れる機会として，今後も開催を継続していく。また，市の芸術・学術・文化の発展に寄与される事業に対して，引き続き後援を行っていく。</p>			

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆さんが，いつでも，どこでも学べる社会の中で，この様に多くの方の作品を展示する機会を一週間以上開催している市はないと思うので，文化芸術のための事業の継続と市の支援に努めてほしい。 ・多数の団体、参加者となっており公民館活動との相乗効果が表れていると思われます。活動状況を踏まえ平成30年度の取組に対する自己評価についてSでいいと思う。判断基準を明確にし見直しをはいかがでしょうか。（ヒアリング後見直し済み） ・芸術祭を始め，美術展，その他の事業に対する，市民の興味や関心の高さがこれまでの施策の積み重ねの結果だと思われます。 			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策 6 0 歴史民俗資料館の充実		担当課	歴史民俗資料館
	・市民の歴史や文化に対する意識高揚を図るための拠点として、郷土資料の収集・保管・公開を行うとともに、興味・関心を抱くような集客力のある企画展や各種イベント等を開催し、来館者の増加に努めます。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	施策の体系	6-3 文化芸術活動の推進と充実		

平成30年度の目標・計画	・市民の歴史に対する意識の高揚を図るため、企画展・収蔵品展・伝承教室・歴史見学を行います。また、歴史資料の収集、保存、展示など貴重な文化遺産の散逸を防ぐとともに、常設展示の工夫をするなど資料館の充実を図ります。			
平成30年度の実施状況	・年間を通じて歴史や民俗文化に触れる機会を設けるため、夏休み企画展のほかに、季節ごとにテーマを変えた収蔵品展・伝承教室・伝承あそび・歴史見学を実施しました。また、常設展示室の映像機器を更新するなど資料館の充実を図りました。 ・企画展1回 収蔵品展6回 伝承教室2回 伝承あそび月1回 歴史見学3回 ・常設展示「鹿島開発の歩み」の映像機器更新 ・くん蒸作業（ガスによる文化財害虫駆除）、資料館のLED化			
平成30年度取組に対する自己評価	A	S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	・歴史や民俗文化に関心を持ってもらえるよう魅力ある企画・展示を行い、集客力向上を図ります。また、貴重な収蔵物の保存・展示拠点である施設の充実に努めます。			

評価委員からのコメント	・各活動がPDCAサイクルに沿ったものとなっており、今後の成果に期待ができます。市外参加者も考慮した企画・PRの検討も合わせてお願いします。 ・多くの企画展やイベント等とても魅力のあるものだと思います。「開催回数達成と来場者数に課題がある」との説明もありましたが、来場者のアンケートやコメント等があるのであれば、パンフレットやポスターに少し載せてみるのはどうでしょうか。生の声に関心をもたれる方もいるのでは、と思います。 ・目標、計画は達成されているので、自己評価はSでいいと思います。今後の計画についても、市民が興味や関心を抱くようなイベントを開催してください。			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策67 新たなスポーツの導入		担当課	文化スポーツ課
	・関係機関や団体と連携・協力し、子ども、高齢者、障がいのある方も心身の健康と体力づくりにつながり、楽しみながら継続できる新たなスポーツ種目の導入を検討します。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	施策の体系	7-1 スポーツ・レクリエーション活動の振興		

平成30年度の目標・計画	市民が、生涯にわたって継続的にスポーツを行い、世代を超えて交流ができる場所として設立された「かみすスポーツクラブ」の運営支援に努めることで、新たなスポーツ種目等を実施する。																											
平成30年度の実施状況	<p>【教室、大会等】</p> <table border="0"> <tr> <td>○ノルディックウォーキング</td> <td>82回開催</td> <td>352人参加</td> </tr> <tr> <td>○グラウンド・ゴルフ</td> <td>41回開催</td> <td>1,903人参加</td> </tr> <tr> <td>○健康体操</td> <td>47回開催</td> <td>755人参加</td> </tr> <tr> <td>○ヨーガ</td> <td>46回開催</td> <td>755人参加</td> </tr> <tr> <td>○卓球教室</td> <td>137回開催</td> <td>1,129人参加</td> </tr> <tr> <td>○スポーツ吹矢</td> <td>47回開催</td> <td>469人参加</td> </tr> <tr> <td>○ユニカール教室</td> <td>34回開催</td> <td>417人参加</td> </tr> <tr> <td>○ファミリーバドミントン</td> <td>23回開催</td> <td>263人参加</td> </tr> </table>				○ノルディックウォーキング	82回開催	352人参加	○グラウンド・ゴルフ	41回開催	1,903人参加	○健康体操	47回開催	755人参加	○ヨーガ	46回開催	755人参加	○卓球教室	137回開催	1,129人参加	○スポーツ吹矢	47回開催	469人参加	○ユニカール教室	34回開催	417人参加	○ファミリーバドミントン	23回開催	263人参加
○ノルディックウォーキング	82回開催	352人参加																										
○グラウンド・ゴルフ	41回開催	1,903人参加																										
○健康体操	47回開催	755人参加																										
○ヨーガ	46回開催	755人参加																										
○卓球教室	137回開催	1,129人参加																										
○スポーツ吹矢	47回開催	469人参加																										
○ユニカール教室	34回開催	417人参加																										
○ファミリーバドミントン	23回開催	263人参加																										
平成30年度の取組に対する自己評価	A	<p>S：目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され、施策の進捗が少し認められるが、取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず、施策の進捗がほとんど認められないため、取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず、施策の進捗が全く認められない。</p>																										
今後の方針	<p>・「かみすスポーツクラブ」を中心に、身体、年齢、興味、目的に応じて気軽に楽しくスポーツ活動に参画できるプログラムを実施している。今後の方針は、スポーツレクリエーション、新設されたかみす防災アリーナを活用した取り組みが必要である。</p>																											

評価委員からのコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の方の心身の健康づくりのために、学区単位でのスポーツレクリエーションの企画、運営を計画してはどうか。 ・誰でも、いつでも手軽に参加できる種目、機会の提供を引き続きお願いします。また、障がいのある方が参加可能なプログラムの検討もお願いします。 			
-------------	--	--	--	--

施策概要	施策 6 9 学校体育施設の効果的な活用		担当課	文化スポーツ課
	・スポーツサークルや地域コミュニティ活動を支援するため、より身近な学校体育施設の効果的な活用を推進します。			
教育振興基本計画の位置づけ	基本目標	3 地域社会と連携した教育の推進		
	施策の体系	7-2 スポーツ・レクリエーション施設の充実		

平成30年度の目標・計画	・市民がスポーツをするための身近な場所として、小・中・高校の体育施設などを学校教育に支障のない範囲で開放を進める。また、その運営については、利用団体と検討しながら、学校開放の充実を図る。			
平成30年度の実施状況	学校開放利用団体総数 134団体 3月（H29）…利用希望団体募集期間 ※広報誌で周知，利用団体への通知 4月…利用説明会（事務局，利用団体，学校担当者） ※神栖地区（武道館），波崎地区（はさき生涯学習センター）で開催 5月…二次申請受付 ※広報誌で周知，新規利用希望団体を優先 6月…二次申請受付団体利用開始 ※学校への利用団体追加を連絡			
平成30年度の取組に対する自己評価	A	S：目標が達成され，計画以上の施策の進捗が認められる。 A：目標が概ね達成され，施策の進捗が認められる。 B：目標の一部が達成され，施策の進捗が少し認められるが，取組に対する努力が必要である。 C：目標がほとんど達成できず，施策の進捗がほとんど認められないため，取組の改善が必要である。 D：目標を全く達成できず，施策の進捗が全く認められない。		
今後の方針	・利用不可期間等の通知をするにあたり，学校との連携・情報共有を強化する。 ・工事で利用できない学校を把握するため，教育総務課との連携を図る。 ・学校開放事業での利用備品の修繕，購入を学務課，学校と連携を図る。			

評価委員からのコメント	・引き続き，より身近な学校施設の開放の充実に努めてほしい。 ・「市民ひとりスポーツ」として会場確保は重要な要件と思われま。引き続き会場確保に向けた活動の継続，教育総務課との連携による設備の充実をお願いします。 ・施策67とも重なりますが，市民が様々な方法でスポーツに親しみ，実施する為にも各支援，環境が整備されていることは，とても良いことだと思います。			
-------------	--	--	--	--



神栖市教育委員会事務局

〒314-0192 茨城県神栖市溝口 4991 番地 5

TEL 0299-77-7122 (教育総務課)

FAX 0299-77-7703